

K-RELEASE

企業局情報通信

K-RELEASE VOL.187

静岡県企業局

● 電話 054-221-2153

● F A X 054-251-5381

発行 令和元年 12月 25日

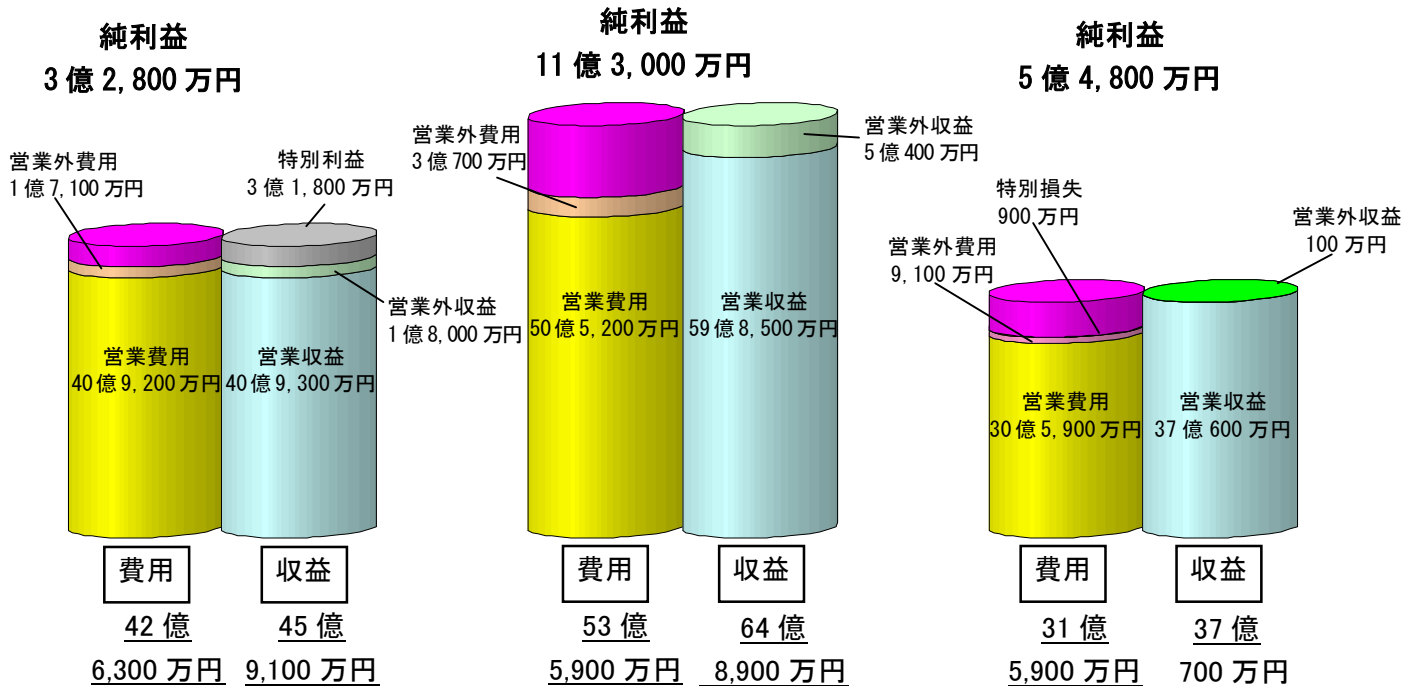
平成30年度決算の概要

…平成30年度損益計算書(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)…

工業用水道事業会計

水道事業会計

地域振興整備事業会計



工業用水道事業で3億2,800万円、水道事業で11億3,000万円の純利益(黒字)が生じました。これらは施設整備の借入金(企業債)の返済や将来の施設更新に使用します。

地域振興整備事業は、5億4,800万円の純利益(黒字)が生じました。これは繰越欠損金をうめるために使用します。

なお、各事業会計はそれぞれ独立しており、各事業の損益が他の事業に影響を与えることはありません。

営業費用とは…

工業用水道事業や水道事業では施設の維持管理費用、地域振興整備事業では土地売却原価や人件費が主なものです。

営業外費用とは…

借入金の支払利息が主なものです。

特別損失とは…

通常の経営に伴うもの以外の支出があった場合に計上します。

営業収益とは…

工業用水道事業や水道事業では給水収益、地域振興整備事業では土地売却収益が主なものです。

営業外収益とは…

補助金等を収益化する長期前受金戻入が主なものです。

特別利益とは…

通常の経営に伴うもの以外の収入があった場合に計上します。

1 工業用水道事業会計

	平成 30 年度	平成 29 年度	増 減	
			金額・水量	率
有収水量 (万m ³)	26,680	27,906	△1,226	△4.4%
総収益 (百万円)	4,591	4,465	126	2.8%
総費用 (百万円)	4,263	4,170	93	2.2%
純利益 (百万円)	328	295	33	11.1%

(注) 増減率は円単位で算出しているため、表の数値 (百万円単位) で算出したものと一致しない場合があります。

- ・総収益は、特別利益の増加等により、前年度比 2.8% 増となりました。
- ・総費用は、維持管理費の増加等により、前年度比 2.2% 増となりました。
- ・この結果、当年度純利益は 3 億 2 千 8 百万円で、前年度比 11.1% 増となりました。

2 水道事業会計

	平成 30 年度	平成 29 年度	増 減	
			金額・水量	率
有収水量 (万m ³)	7,789	7,899	△110	△1.4%
総収益 (百万円)	6,489	6,505	△16	△0.2%
総費用 (百万円)	5,359	5,268	91	1.7%
純利益 (百万円)	1,130	1,237	△107	△8.6%

(注) 増減率は円単位で算出しているため、表の数値 (百万円単位) で算出したものと一致しない場合があります。

- ・総収益は、前年度並みとなりました。
- ・総費用は、維持管理費の増加等により、前年度比 1.7% 増となりました。
- ・この結果、当年度純利益は 11 億 3 千万円で、前年度比 8.6% 減となりました。

3 地域振興整備事業会計

	平成 30 年度	平成 29 年度	増 減	
			金額・区画数	率
分譲等区画数 (区画)	7	0	7	—
総収益 (百万円)	3,707	27	3,680	13,872.6%
総費用 (百万円)	3,159	82	3,077	3,782.3%
純利益 (百万円)	548	△55	603	—

(注) 増減率は円単位で算出しているため、表の数値 (百万円単位) で算出したものと一致しない場合があります。

- ・4 工業用地 7 区画を分譲し、総収益、総費用ともに増加し、当年度純利益は 5 億 4 千 8 百万円となりました。

静岡から世界に向けて躍進する 工水ユーザーのご紹介

プライムアースEVエナジー株式会社

湖西工業用水ユーザーで、ハイブリッド車載用バッテリーの世界シェア1位である**プライムアースEVエナジー株式会社**（以下「PEVE」。）様を訪問し、常務取締役 秦野 精吉様と取締役 彦坂 昇様に、今後の事業展開や地元・湖西への想いなど、お話をお伺いしました。



秦野様

彦坂様

－PEVE はどのような会社か教えてください－

PEVE は、1996 年の設立以来、「社会に貢献」「世界に提供」「市場を創造」という三つの企業理念のもと、HV（ハイブリッド自動車）用二次電池（繰り返し使用できる電池）の生産を通じて、環境車の市場拡大に貢献しています。生産台数は累計1,500 万台を達成いたしました。湖西市内には大森工場、境宿工場の他、浜名湖西岸地区（新居町）に新工場を建設予定です。

－社名の「プライム・アース」= かけがえのない地球、に込めた想いは？－

PEVEはその名のとおり、「環境に優しい製品・工場・行動」の活動を行っています。本業の車載用電池の生産はもとより、全工場で国際規格を基にした環境マネジメントシステムを推進するとともに、社内外で環境教育を徹底しています。

工場緑化の取組みの結果、先の10月には、「全国みどりの工場大賞」で**関東経済産業局長賞**を受賞いたしました。

－工水はどのように使用していますか－

主には、冷却塔、冷凍機やボイラーに使っています。また、工水をろ過し純水化してからアルカリ液と混ぜ電解液としています。電解液は「電池の血液」とも呼ばれており、工水を電池の原料として使用しています。静岡で製造された電池が、トヨタ・プリウスに搭載されて世界中を走っています。



－今後の事業展開についてお聞かせください－

自動車の電動化が言われ、すぐにでもEV化が進むと思いがちですが、EVがより身近に浸透するにはまだ時間がかかると思われます。だからといって、ガソリン車だけでは厳しい環境規制対応が出来ないので、まだまだHVの需要は大きいと思っています。

また、充電に要する時間や搭載するバッテリーの総量（EVはHVの約10倍）を考えると、現実解としてHV車・HV技術には優位性があります。

ですが、EVの普及は、今後ユーザー様のEVへの関心が高まることで、技術革新と量産化によりEVのコストが下がれば一気に普及するでしょう。

思い起こせば、20年前にはHVはあまりに高価でしたが、今や普通に買える車となっています。技術の移り変わりは日進月歩ですので目が離せません。その他、車載用以外にも蓄電池の需要はあり、将来的に領域の広がりも期待しています。

－地元・湖西への「想い」について教えてください－

湖西市は、トヨタグループ創始者で発明家である豊田佐吉翁の生誕地であり、思い入れは大変強いです。企業は地域との共存あってこそ、地域から愛されてこそその企業であると考えており、環境に優しい行動として、皆様と「ふれあう場」の形成を大切にしています。地域の方々から見て「近い」企業となり、「PEVEがこの地域にいて良かった」と思っていただけるよう取り組んでいます。

この考えのもと、6年前から「**PEVE ふれあいフェスタ**」を開催しており、昨年は約2,000人の方にお越しいただきました。今年からは、自社体育館を使用して小学生を対象とした「**PEVE杯ミニバスケット大会**」を主催しています。そのほか、小・中学校への「**出前授業**」を行い科学（電池）についての理解を深めたり、「**豊田佐吉ものがたり**」冊子を小学校に日本語版と英語版を寄贈して、発明家精神を醸成しています。



ふれあいフェスタ（2018年）

－最後にひとことお願いします－

今後、HV用バッテリーの主流がリチウムイオン電池になると、佐吉翁のいう「障子の外」※には、中国や韓国など多くの競争相手が待っています。そこでいかに競争優位を保持できるか、肝となるのは開発力や製造技術力です。我が社の新卒社員は地元の高校・大学から半数以上を占めていますが、**そうした若い力を結集して、付加価値の創出で世界で勝負できる企業**であり続けることにより、この難局を乗り越えてまいります。 ※佐吉翁のメッセージ「障子を開けてみよ、外は広いぞ」から

また、「湖西は原点」という想いを忘れず、地域の皆様や企業様、行政との連携を通じて、いろいろなことに挑戦してまいります。

水道事業の業務状況(令和元年11月25日現在)

11月の使用水量は、前年度同期で駿豆水道は93.3%、榛南水道は99.6%、遠州水道は99.7%と減少し、全体では98.7%となっています。(単位：千m³、%)

水道名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			11月分	累計	11月分	累計	累計
駿豆	当該年度	100	3,100	24,500	909	7,429	30.3
	前年度同期	100	3,100	24,500	974	7,796	31.8
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	93.3	95.3	
榛南	当該年度	27	837	6,615	473	3,745	56.6
	前年度同期	27	837	6,615	475	3,830	57.9
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	99.6	97.8	
遠州	当該年度	292	9,055	71,565	5,014	39,323	54.9
	前年度同期	292	9,055	71,565	5,031	39,660	55.4
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	99.7	99.2	
合計	当該年度	419	12,992	102,680	6,396	50,497	49.2
	前年度同期	419	12,992	102,680	6,480	51,286	49.9
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	98.7	98.5	

工業用水道事業の業務状況(令和元年11月25日現在)

11月の使用水量は、前年度同期比で、柿田川工水は99.8%、富士川工水は34.3%、東駿河湾工水は97.2%、静清工水は93.7%、中遠工水は88.9%、西遠工水は96.4%、湖西工水は98.8%といずれも減少し、全体では87.1%となっています。(単位：千m³、%)

工水名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			11月分	累計	11月分	累計	累計
柿田川	当該年度	100	3,100	24,500	2,886	23,582	96.3
	前年度同期	100	3,100	24,500	2,892	23,620	96.4
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	99.8	99.8	
富士川	当該年度	105	3,252	25,698	871	10,256	39.9
	前年度同期	104	3,231	25,539	2,538	17,296	67.7
	前年度同期比	100.6	100.6	100.6	34.3	59.3	
東駿河湾	当該年度	368	11,393	90,357	7,585	60,559	67.0
	前年度同期	370	11,455	91,289	7,802	64,138	70.3
	前年度同期比	99.5	99.5	99.0	97.2	94.4	
静清	当該年度	52	1,553	12,552	1,051	8,714	69.4
	前年度同期	52	1,574	12,576	1,122	9,321	74.1
	前年度同期比	98.7	98.7	99.8	93.7	93.5	
中遠	当該年度	42	1,314	10,392	438	3,778	36.4
	前年度同期	42	1,316	10,490	493	4,131	39.4
	前年度同期比	99.8	99.8	99.1	88.9	91.5	
西遠	当該年度	35	1,056	8,553	624	4,967	58.1
	前年度同期	41	1,238	9,916	647	5,429	54.7
	前年度同期比	85.3	85.3	86.3	96.4	91.5	
湖西	当該年度	17	496	4,004	316	2,615	65.3
	前年度同期	17	510	4,081	320	2,482	60.8
	前年度同期比	97.2	97.2	98.1	98.8	105.3	
合計	当該年度	718	22,164	176,056	13,771	114,471	65.0
	前年度同期	726	22,425	178,391	15,813	126,416	70.9
	前年度同期比	98.8	98.8	98.7	87.1	90.6	